

ニコンのサステナビリティ

サステナビリティの考え方	011
サステナビリティ推進体制	013
ステークホルダーとの対話	016
サステナビリティにおけるマテリアリティ	020

サステナビリティの考え方

基本的な考え方

ニコングループでは、企業理念である「信頼と創造」を事業活動の中で具現化することで、持続可能な社会に貢献しつつ自社の持続的成長を図ることが、サステナビリティであると考えています。この考えを主文とし、それを支える4つの意志を「サステナビリティ方針」として取締役会で決定しました。この方針のもと、ニコングループでは、社会的責任に対する会社の基本姿勢と、それに基づき従業員がとるべき行動の規準を定めた「ニコン行動規範」を定めています。

サステナビリティに関する目標は、マテリアリティ(重点課題)として定めた課題を中心として、事業による社会的価値の「創造」に関することと、ステークホルダーや社会からの「信頼」を得るために必要なこととの両視点から定めています。これらの目標は、事業と一体として取り組むことが重要なため、ニコンでは、中期経営計画や年度計画の策定と併せて立案しています。また、2022年4月に発表した中期経営計画では、「信頼」と「創造」の両面から事業の中でマテリアリティに取り組むことをサステナビリティ戦略として、経営基盤のひとつに位置付けています。

なお、環境、人権、倫理など多様なサステナビリティに対する取り組みには、ステークホルダーとの対話が不可欠と考え、適切な情報開示とそれに基づくコミュニケーションに注力しています。

サステナビリティ方針

ニコングループは、企業理念である「信頼と創造」を事業活動の中で具現化することで、持続可能な社会への貢献と自社の持続的成長の双方を目指します。

- ニコンならではの製品・サービスを生み出し、事業活動を通して、環境・社会課題の解決やSDGs達成に貢献することを目指します。
- 自らの事業が環境・社会に与える影響を常に客観的に評価し、課題を継続的に改善していくことで、より良い影響を環境や社会にもたらすよう努めます。
- 積極的にステークホルダーとの対話を行うことで、社会の変化を的確にとらえるとともに、ステークホルダーからの要請や期待に応え、自らの活動を常に見直します。
- 法令等を遵守するとともに、誠実・公正に行動するとともに、適切な情報開示を行います。

● サステナビリティ方針の位置付け

企業理念

サステナビリティ方針

ニコン行動規範

サステナビリティにおけるマテリアリティ (➡ p.020)
 コア技術による社会価値創造 (➡ p.027)
 コンプライアンスの徹底 (➡ p.131)

● 中期経営計画におけるサステナビリティ戦略の概念図

サステナブルな社会

持続可能な社会への貢献と自社の持続的成長

2030年のありたい姿

人と機械が共創する社会の中心企業

中期経営計画におけるニコンの価値提供領域

インダストリー ①コア技術による社会価値創造 クオリティオブライフ



事業

②信頼に応える品質の維持・向上



環境

- ③脱炭素化の推進
- ④資源循環の推進
- ⑤汚染防止と生態系への配慮



社会・労働

- ⑥レジリエントなサプライチェーンの構築
- ⑦人権の尊重
- ⑧ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン
- ⑨従業員の健康と安全



ガバナンス

- ⑩コンプライアンスの徹底
- ⑪コーポレート・ガバナンスの強化
- ⑫リスクマネジメントの強化

「創造」
を通じて
社会に貢献する

社会の期待に
「信頼」
で応える

※ ①～⑫は、サステナビリティにおけるマテリアリティ(重点課題)。

サステナビリティにおけるマテリアリティ(➡p.020)